

信州大学 平成30年度学生募集要項

繊維学部第3年次編入学試験



**SHINSHU
UNIVERSITY**

信州大学のアドミッション・ポリシー

信州大学は、真理への探究心とチャレンジ精神を培い、高度な専門知識と深い思索力を基にして、課題を探究し解決する能力を備えるとともに、豊かな人間性と広い視野をもち、身につけた知識や技術を人類文化と社会の持続的発展に役立て、世界の平和と自然環境の保全のために活かすことのできる、意欲あふれる若者を育てることを教育の目標にしています。したがって、この教育を受けるために必要な高等学校修了段階の基礎学力を有する人を求めています。

繊維学部のアドミッション・ポリシー

繊維学部は衣・食・住の要である“繊維”に根ざした先進的な科学技術を背景として、優れた人格と国際性を有し、未来を創造しうる、広い視野と高い能力を持つ技術者、高度専門職業人、研究者の養成を目標にしています。

繊維学部ではこの目標に基づき、次のような意欲を持った学生を求めています。

1. 大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけている。
2. 現代の多様な学問分野を融合した学際領域的な科学技術を学ぶことに強い関心を持ち、それらを学ぶために必要な思考力・判断力・表現力の素養を持っている。
3. 日々進化する科学と技術に対応して学び続け、より高い専門的・実践的能力を得ることに明確な目的意識と強い勉学意欲を持っている。
4. 地域社会や国際社会に貢献するために必要な、豊かな教養と人間性を高めようとする意欲を持っている。

繊維学部では、上記の素養を持つ学生を選抜するために、下記の入学試験を実施します。

【第3年次編入学入試】

大学の基礎教育に相当する課程を、異なる教育環境で過ごしてきた学生を受け入れることで、在学生への知的刺激が生まれることも期待し、高等専門学校、短期大学、他大学等からの学生を受け入れています。この編入学入試では、1と2に対応し大学初年次の学力を確認する口頭試問を行い、3と4に対応した「面接」を実施するとともに、提出書類の内容などを加えて総合的に評価します。

目 次

1	第3年次編入学の趣旨	1
2	募集学科・コース及び募集人員	1
3	学科・コースの選定	1
4	出願資格	1
5	編入年次等	2
6	出願手続	2
7	選抜方法	3
8	選抜期日及び試験場	3
9	合格発表	4
10	入学確約書	4
11	追加合格	4
12	入学手続	4
13	障害等のある方の事前相談	5
14	個人情報利用	6
15	編入学前の既修得単位の認定等について	6
16	入試情報の開示について	6
17	その他	7
	学科・コース紹介	8

[添付書類等]

- 入学志願票・受験票・写真票
- 自己申告書
- 入学検定料納付確認書（A票）・入学検定料領収書（B票）・振込依頼書（C票）
- 願書送付用封筒（受験者から繊維学部入試事務室あて）
- 受験票等送付用返信封筒（繊維学部入試事務室から受験者あて）
- ラベル票

※繊維学部第3年次編入学試験に関する情報は、信州大学繊維学部 ホームページ
(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>) にも掲載されています。

1 第3年次編入学の趣旨

高等専門学校、短期大学及び専修学校等において、人物、学業成績ともに優秀で、かつ志望学科・コースに対して専攻の意志が強い方について、この募集要項に基づき選考を行います。

2 募集学科・コース及び募集人員

学 科	コ ー ス	募集人員
先進繊維・感性工学科	先進繊維工学コース 感性工学コース	10人
機械・ロボット学科	機能機械学コース バイオエンジニアリングコース	
化学・材料学科	ファイバー材料工学コース 機能高分子学コース 応用分子化学コース	
応用生物科学科	(コースなし)	

注) 信州大学繊維学部は、改組により平成28年度1年次新入生から従来の4系9課程から4学科8コースに再編されました。

これに伴い、第3年次編入学試験では、先進繊維・感性工学科、機械・ロボット学科、化学・材料学科の3学科はコース単位で、応用生物科学科は学科単位で学生募集を行います。

3 学科・コースの選定

志望学科・コースは、出身学校において専攻した学科と同系統であることが望ましい。

4 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、合格した場合は入学を確約できる方

- ① 高等専門学校を卒業した方又は平成30年3月31日までに卒業見込みの方
- ② 短期大学を卒業した方又は平成30年3月31日までに卒業見込みの方
- ③ 専修学校の専門課程のうち、文部科学大臣の定める基準を満たすもの（修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である課程）を修了した方又は平成30年3月31日までに修了見込みの方（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する者に限る。）
- ④ 外国において学校教育における14年の課程を修了した方又は平成30年3月31日までに修了見込みの方で、前記①、②、又は後述の⑥、⑦のいずれか一つに相当すると認められる方
- ⑤ 外国の短期大学を卒業した方及び外国の短期大学の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を我が国において修了した方又は平成30年3月31日までに修了見込みの方（学校教育法（昭和22年法律第26号）第90条第1項に規定する者に限る。）
- ⑥ 大学を卒業した方又は平成30年3月31日までに卒業見込みの方
- ⑦ 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された方又は平成30年3月31日までに授与される見込みの方
- ⑧ 大学に2年以上在学（休学期間を除く。）し、62単位以上を修得した方又は、平成30年3月31日までに修得見込みの方（平成30年3月末に2年以上在学となる方を含む。）
- ⑨ 高等学校の専攻科の課程を修了した方又は平成30年3月31日までに修了見込みの方で、学校教育法第58条の2の規定により大学に編入学することができる方

注：出願資格等について疑問がある場合は、事前に繊維学部入試事務室にお問い合わせ願います。

5 編入年次等

- (1) 編入学が許可された場合は、平成30年4月に第3年次への入学になります。
ただし、出身学校での履修状況によっては、卒業までに要する期間が2年を超える場合もあります。
- (2) 出身学校での履修状況により、卒業要件に不足する科目がある場合は、信州大学全学教育機構（松本市）へ出向いて受講することが必要な場合もあります。

6 出願手続

- (1) 出願期間 平成29年5月24日(水)から平成29年5月31日(水)（郵送の場合は消印有効）まで（ただし、土曜日及び日曜日は受け付けません。）
- (2) 手続時間 8時30分から17時まで
- (3) 出願方法 この募集要項に添付する封筒〔角形2号(24cm×33.2cm)〕に、出願書類等を一括して入れ、持参又は「速達書留郵便」で郵送してください。
- (4) 出願書類等提出先 信州大学繊維学部入試事務室
〒386-8567 上田市常田3-15-1
TEL: 0268-21-5310
- (5) 出願書類等

出願書類等	摘 要
入学検定料納付 確認書（A票）	① 入学検定料30,000円を、この募集要項に添付する振込依頼書（C票）を使用して平成29年5月17日（水）から5月31日（水）までの間に金融機関から「電信扱い」で振り込んでください。振込みには別途振込手数料が必要です。なお、ゆうちょ銀行（郵便局）からの振込みはできません。また、ATM（現金自動預支払機）、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 ② 振込み後、納付確認書（A票）及び領収書（B票）を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書（A票）を提出してください。 また、「金融機関収納印」欄に、平成29年5月31日（水）（出願期間最終日）までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合には、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ行ってください。 ③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口業務取扱時間内に振込みができなかった方に限り、現金による納付を受け付けます。 ※ 国費外国人留学生は入学検定料の支払いが不要のため、国費外国人留学生証明書を提出してください。
入学志願票 受験票 写真票	この募集要項に添付する用紙に所要事項を記入してください。受験票・写真票には出願3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向、背景なしの写真（縦4cm×横3cm）を指定欄に貼ってください。試験場において不審をもたれないように眼鏡・髪型等に注意してください。
調査書 又は 成績証明書	出身学(校)長が作成し、厳封したものを提出してください。 高等専門学校を卒業見込みの方は、調査書を提出してください。 その他の出願資格に該当する方は、調査書の様式の定めがない場合に限り、成績証明書を提出してください。 在学中の方で、調査書又は成績証明書に現在履修中の科目及び単位数が記載されていない場合は、上記事項の確認できる証明書を併せて提出してください。 「4 出願資格⑨」の方は、文部科学大臣の定める基準を満たすことがわかる証明書を提出してください。
卒業(見込) 証明書	出身学(校)長が作成したものを提出してください。卒業(修了)見込み以外の方は、在学証明書（学年を明示したもの）又は在籍期間証明書を提出してください。 なお、「4 出願資格③」の方は、修業年限が2年以上で、かつ、課程の修了に必要な総授業時間数が1,700時間以上である専修学校の専門課程を修了又は修了見込みであることの証明事項が記載されている卒業（見込）証明書を提出してください。

自己申告書	この募集要項に添付する用紙に「記入要領」を参照して記入してください。
受験票等送付用 返信封筒	この募集要項に添付する封筒 [長形 3 号 (12 cm×23.5 cm)] に郵便番号、住所、氏名、志望学科・コースを明記し、372 円分の切手 (速達料含む。) を貼ってください。
ラベル票	この募集要項に添付する用紙に、郵便番号、住所、氏名、志望学科・コースを記入してください。
住民票の写し 又は パスポートの コピー	【外国人の志願者の方のみ】 現に日本国に在住し、かつ、「在留カード」又は「外国人登録証明書」をお持ちの方は、「住民票」(居住している市区町村長が発行するもの) 1 通を提出してください。 それ以外の方は、「パスポート」の写し (氏名、国籍、生年月日、性別が記載された部分及び日本国査証の部分) を提出してください。

【記入上の注意事項】

- ① 出願書類は、黒か青のボールペン又はインクで記入してください。
- ② 誤って記入した場合は、訂正箇所を二重線で消してください。
- ③ ※印の欄は、記入しないでください。

(6) 出願に際しての注意事項

- ① 出願書類等に不備があるものは、受理しません。
- ② 出願書類等の志望学科・コースの変更は、認めません。
- ③ 受理した出願書類は、どのような理由があってもお返しできません。
- ④ 納入済みの検定料は、出願書類を受理した後はお返しできません。
 なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった (出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合は、本人の請求により納入された検定料 (二重に振り込んだ場合は重複して納入された分) の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ (入試情報ポータル／入学検定料返還手続) をご覧ください。
 (http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/)
- ⑤ 出願書類等に虚偽の記載があった場合は、入学許可を取り消します。
- ⑥ 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに受験番号、氏名を明記のうえ、繊維学部入試事務室まで届け出てください。
- ⑦ 出願書類等の提出後、6 日を経過しても受験票等が到着しない場合には、繊維学部入試事務室に問い合わせてください。

7 選抜方法

入学者の選抜は、面接 (口頭試問を含む。) の結果及び出願書類の審査結果を総合して行います。

(1) 採点・評価基準

面接：外国語及び専門科目の基礎的内容に関する口頭試問をします。学習意欲、語学力、専門教科の理解達成度を採点・評価基準とします。

(2) 合否判定基準

面接点と出願書類の内容を総合評価します。

8 選抜期日及び試験場

(1) 選抜期日

期 日	時 間	選抜方法
平成 29 年 6 月 13 日 (火)	13 : 00 ~	面 接 (口頭試問を含む。)

(2) 試験場

信州大学繊維学部

上田市常田 3-15-1

(3) 試験場までの交通案内

- ①JR・しなの鉄道上田駅お城口から徒歩20分。又はタクシーで5分。
- ②JR・しなの鉄道上田駅お城口を出てバス停1番のりばから、千曲バス「佐久上田線勝間行き」「鹿教湯線鹿教湯行き」「武石線巢栗行き」に乗車（5分）、バス停「イオン上田前」下車、徒歩5分
- ③JR・しなの鉄道上田駅お城口を出てバス停4番のりばから、上田バス「市内循環線青運行(あおバス)」に乗車(5分)、バス停「イオン上田前」下車、徒歩5分



9 合格発表

平成29年6月23日（金）10時

本学部掲示板に掲示するとともに、同日付で本人あてに合否を文書で郵送により通知します。

なお、電話・eメール等による合否の問い合わせには、応じられません。

10 入学確約書

合格者は、平成29年7月3日（月）（必着）までに、信州大学繊維学部長あて「入学確約書」（用紙は合格通知書に同封します。）を提出してください。

なお、「入学確約書」を提出されない方は、本学に入学の意志がないものとして取り扱います。

11 追加合格

- (1) 合格発表後、募集人員に欠員が生じた場合には、追加合格の手続を行います。
- (2) 追加合格候補者には、合格発表の際に、追加合格候補者である旨の通知書を郵送します。
- (3) 追加合格の手続を行う場合は、平成29年7月4日（火）から7月7日（金）までの間に順次追加合格者を決定し、電話による意思の確認を行います。
なお、追加合格の手続は、入学志願票に記載された本人の連絡先へ電話により直接連絡します。

12 入学手続

入学手続に必要な書類については、入学確約書を提出された方に対して平成29年8月下旬に改めて通知しますので、次により入学手続を行ってください。

- (1) 手続期間
平成29年9月1日（金）から9月7日（木）（消印有効）まで
※持参する場合の入学手続の受付は、8時30分から17時までとし、土曜日及び日曜日は受け付けません。
- (2) 手続方法
入学手続期間内に、「銀行振込」により入学料を納入するとともに、原則として「郵送」により必要な書類を提出してください。

(3) 手続場所

信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1 直通電話：0268-21-5310

(4) 納付金の納入等

① 納付金（入学料・授業料）の額

ア 入学料 282,000円

イ 授業料（前・後期）各 267,900円〔年額 535,800円〕

(注) 金額は、平成29年4月現在のものです。

入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、入学手続書類送付時に通知します。

② 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③ 授業料は、入学後の納付になります。

④ 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度（授業料のみ）がありますので、希望者は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除・授業料免除等に関する書類をよく読んで願い出てください。

(5) 手続に当たっての注意事項

① 入学手続書類を受領したら、なるべく早く入学手続を行ってください。

② 入学手続締切期日（消印有効）までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

13 障害等のある方の事前相談

本学に入学を志願する方で、障害（別表参照）等のために受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願の前に、下記事項を記載した書面を提出してください。

なお、重度の障害のある方は、できる限り早い時期に相談してください。

※ 書面の様式は問いませんが、本学のホームページ（入試情報ポータル／障害等のある方の事前相談）から申込様式をダウンロードいただけます。（http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/）

(注) 日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学にあたってより良い方法やあり方を実現するためのもので、障害等のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 提出の時期

平成29年5月19日（金）まで

(2) 書面に記載する内容

① 志願者の氏名、住所、電話番号

② 出身学校名

③ 志願学部、学科、コース等（学科、コース名の後に「第3年次編入学」と記載してください。）

④ 障害等の種類・程度（現に治療中の方は、医師の診断書を添付してください。）

⑤ 受験上の配慮を希望する事項

⑥ 修学上の配慮を希望する事項

⑦ 出身学校でとられていた修学上の配慮

⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先

信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1 直通電話：0268-21-5310

(4) 提出期限後の不慮の事故等による場合の配慮

提出期限後に不慮の事故等により配慮が必要となった場合は、その際にご相談ください。

〔別 表〕

区分	障害の程度
視覚障害	良い方の目の矯正視力が0.15以下のもの、両眼による視野について視能率による損傷率が90%以上のもの、その他視覚に関する配慮を必要とするもの
聴覚障害	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもののうち、補聴器等の使用によっても通常の話声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
肢体不自由	○肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの ○肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないもののうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病 弱	○慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの ○身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの
発達障害	自閉症スペクトラム障害、自閉症、アスペルガー障害、広汎性発達障害、学習障害、注意欠如・多動性障害等のために配慮を必要とするもの
その他	上記以外で、受験上及び修学上の配慮を必要とする程度のもの

14 個人情報の利用

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。

15 編入学前の既修得単位の認定等について

- (1) 本学部では、編入学生が編入学以前の高等教育機関で修得した科目の単位を、提出された成績証明書を基に確認し、それを本学部で履修すべき科目と対応させ、信州大学繊維学部規程に基づいて審査し、所定の基準を満たす科目を本学部における授業科目として、単位を認定します。
なお、合格した場合は、単位認定の関係上、在籍時のシラバスを提出いただくこともあります。
- (2) 編入学生については、本学の修業年限のうち2年間を既に在学したものとして取り扱い、編入学後の在学期間は2年以上、4年以内となります。

16 入試情報の開示について

本選抜に係る試験結果等を次のとおり開示します。

- (1) 志願者数
開示方法：信州大学繊維学部ホームページ
開示時期：出願期間終了後、人数が確定次第
- (2) 受験者数、合格者数、入学者数
開示方法：信州大学繊維学部ホームページ
開示時期：平成30年4月以降
- (3) 個人情報等
 - ① 試験成績
 - ② 調査書

※調査書においては、客観的事実に係る記録部分のみを開示します。ただし、「特別活動の記録」、「指導上参考となる諸事項」、「総合的な学習の時間の内容・評価」及び「備考」に係る記録部分を除きます。

開示方法： ①の試験成績は、開示請求による郵送を原則とします。

②の調査書は、窓口での閲覧のみとします。

請求者： 原則として受験者本人

請求方法： 「入試情報開示請求願」に必要事項を記入し、下記の開示請求先に郵送（又は持参）してください。

なお、「入試情報開示請求願」は、繊維学部ホームページからダウンロードしてください。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>)

※ 受験者本人であることを確認するとともに、受験番号を照合するため、本学の受験票を必ず添付してください。

※ 試験成績の郵送を希望する場合は、返信用封筒〔長形3号（12cm×23.5cm）に郵便番号、住所、氏名を明記し、簡易書留料金を含む402円分の切手を貼ったもの〕を同封してください。

受付期間： 平成30年5月1日（火）～5月31日（木）

※ 郵送の場合は、5月31日の消印有効

※ 持参の場合は、8時30分から17時までとし、土曜日、日曜日及び祝日は除きます。

開示時期： 平成30年7月中旬以降

開示請求先： 信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1

直通電話：0268-21-5310

17 その他

(1) 平成30年3月までに所定の要件を満たす見込みで受験し合格した方が、所定の要件を満たすことができなかった場合には、入学を許可しません。

(2) この募集要項及び出願書類一式を希望する方は、250円分の切手を貼った返信用封筒（角形2号（24cm×33.2cm））を同封し、大学宛封筒の表の左端に「第3年次編入学募集要項請求」と朱書きのうえ、請求してください。

請求先 信州大学繊維学部入試事務室

〒386-8567 上田市常田3-15-1

直通電話：0268-21-5310

(3) 平成29年度信州大学繊維学部第3年次編入学試験入学状況

課 程	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
先進繊維工学課程	10人	1	1	1	1
感性工学課程		2	2	1	1
機能機械学課程		7	7	2	1
バイオエンジニアリング課程		0	0	0	0
応用化学課程		5	5	2	2
材料化学工学課程		8	6	4	3
機能高分子学課程		4	3	1	1
生物機能科学課程		1	1	1	1
生物資源・環境科学課程		0	0	0	0
合 計		28	25	12	10

(4) 受験票は、入学手続や入試情報開示請求の際にも必要となりますので、それまで大切に保管してください。

学科・コース紹介

◎先進繊維・感性工学科

▼先進繊維工学コース

日本でただ一つテキスタイル工学を基礎として、先進機能繊維材料の開発、繊維製品の高付加価値化加工技術、スポーツ関連製品や工業製品の自動計測・評価技術などについて教育・研究を行います。

▼感性工学コース

感性工学コースでは、こころが喜ぶ「感性価値」の創造を追求する感性プロダクトを養成しています。ハードからソフトまで感性豊かな製品を、総合的に創れる専門技術者を養成し、豊かで持続可能な社会の発展に貢献します。

◎機械・ロボット学科

▼機能機械学コース

人をはじめとする生物の機能に学び、それを超える機械の創造を目指すコースです。機械工学を中心に、電子・情報・材料・生体など周辺領域の広い技術を融合させ、原理的・質的に新しい機能を持つ機械、多機能化された機械を創り出すための教育・研究を行っています。

▼バイオエンジニアリングコース

ヒトを含めた生物の構造や機能を機械工学的に探求する「バイオメカニクス」、生物に学びヒトと融合した新しいロボットを創造する「バイオリボティクス」を2本柱に、生物学・機械工学・ロボット学を横断するユニークな教育・研究を行っています。

◎化学・材料学科

▼ファイバー材料工学コース

《本コースのカリキュラムはJABEE（日本技術者教育機構）の化学および化学関連分野（化学工学コース）で認定を受けており、国際レベルの技術者教育を行っています。》

資源・エネルギー・環境問題の解決に役立つ材料およびその性質、製造法、利用法に関する学問を教育し、研究するコースです。燃料電池、太陽電池、光触媒、バイオマス、高機能ファイバーなどの研究をしています。

▼機能高分子学コース

機能高分子学と名のつくわが国唯一の本コースは、高分子合成、高分子物性、高分子機能を軸にして、化学、繊維、電子、情報、環境、資源、エネルギー、医療などの幅広い分野にわたる教育・研究を行っています。

▼応用分子化学コース

原子・分子をあやつるという化学的手法により日々新しい製品が開発されています。応用分子化学コースでは、原子・分子をあやつるという化学本来の特長を最大限に活かしながら、新しい有用な化学物質やナノ物質を創製し物性を調べる研究を行っています。それを通じ人々の生活の向上とエネルギー問題等の解決などに貢献できるような有能な研究者・技術者を育成するための教育を鋭意行っています。

◎応用生物科学科

自然環境にある生物は貴重な知見をもたらす資源そのものです。その優れた生存・適応戦略および機能に学びつつ、多岐に渡るバイオテクノロジーを駆使して生物固有の構造や機能を解明し、有用生物資源の持続的かつ効率的な生産に応用する教育・研究を行います。実験室内での遺伝子工学・タンパク質工学・細胞工学等の各種実験からフィールドでの実習や環境調査活動まで、幅広い分野について学ぶことができます。

信州大学繊維学部

平成29年4月発行

発行・編集／信州大学繊維学部 入試事務室

〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 TEL 0268-21-5310